

「特定電気通信施設等整備推進基金補助金（特定電気通信施設整備事業、水底線路陸揚局整備事業及び水底線路整備事業）に係る

外部評価会」開催要綱

1 目的

総務省の「データセンター、海底ケーブル等の地方分散によるデジタルインフラ強靱化事業」により造成された特定電気通信施設等整備推進基金補助金（デジタルインフラ整備基金）は基金設置法人である一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（以下「CIAJ」という。）によって基金の管理・運営等が行われている。

本事業は「新経済・財政再生計画改革工程表 2022・2023」に盛り込まれた「多年度にわたる基金事業のPDCA強化」に関するフォローアップ対象となっており、基金の管理・運営等が適正に行われているか評価することが求められている。

評価を実施するに当たり、公平公正を確保することを目的に、外部有識者の協力を得るため、標記会合を開催する。評価会においては、総務省及びCIAJから基金に係る事業の進捗状況や管理の状況等を説明した上で、外部有識者による意見交換や評価等を実施し、今後の基金設置法人による基金の管理・運用等の改善を図る。

2 名称

本会合は、「特定電気通信施設等整備推進基金補助金（特定電気通信施設整備事業、水底線路陸揚局整備事業及び水底線路整備事業）に係る外部評価会」（以下「評価会」という。）と称する。

3 開催日及び開催場所

開催日： 令和7年4月8日（火） 13:30-14:30

開催場所： （集合およびオンライン）

4 評価会の構成員（五十音順 敬称略）

江崎 浩 東京大学大学院情報理工学系研究科教授

鎌田 俊介 総務省総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課長

松本 充司 早稲田大学名誉教授

5 評価項目

- （１）基金に係る事業の進捗状況
- （２）基金に係る管理の状況
- （３）その他評価会が適当であると認めるもの

6 その他

- （１）構成員は、構成員として知り得た秘密を漏らしてはならない。構成員を辞した後も同様とする。
- （２）総務省構成員は総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課長をもって充てる。